

## 「大阪府イノシシ保護管理計画案」についての公聴会意見概要

日 時：平成 19 年 2 月 14 日（水）

場 所：大阪赤十字会館ビル 4 階 401 会議室

案 件：特定鳥獣保護管理計画（イノシシ）の策定について

公述人：利害関係者（10 団体）

賛成：5 件、条件付き賛成：5 件、反対：なし

根拠法令：鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律 第 7 条第 4 項

## 1. 概 要

公述人	賛否	賛 否 に 係 る 理 由
大阪府農業協同組合中央会	条件付き賛成	<p>イノシシによる農委林業被害額は、年々増加傾向にあり、農業者からの相談も多い。イノシシの繁殖率は高く、現行の捕獲数量では、生息数の削減、被害金額の減少に寄与していないため、捕獲圧を高めること、狩猟期間を延長することについては、大いに評価したい。</p> <p>現状の大阪府有害鳥獣捕獲実施要領では、捕獲隊は 1 市町村 1 団体とする等、農業者が有害捕獲の新たな担い手として参画することが難しい。したがって、農業被害が甚大な地域においては、農業者が自衛的に捕獲できる仕組みをつくることを計画に盛り込み、運用に当たっては、市町村や猟友会等関係機関との調整をいただくようお願いしたい。</p> <p>保護管理の目標については、被害額を 1 / 2 以下に押さえることを数値目標として示しているが、農業団体としては、農業被害額ゼロを最終目標として考えており、可能な限りこれに近づく形で野生鳥獣との共生を図る計画としていただきたい。</p>
大阪府森林組合	条件付き賛成	<p>イノシシの林業被害は、依然として高水準にあり引続き大阪府において、被害の予防対策を講じられること。</p> <p>イノシシの被害については、大阪府において実態を把握し、その被害については、大阪府は誠意をもって対応すること。</p>
(社)大阪府自然環境保全協会	条件付き賛成	<p>管理目標の考え方として被害額のみあげられているが、農林業被害の動向には、農林業へのモチベーションにかかる防除対策の充実、または耕作放棄地や放置林野の増加、狩猟の体制にかかる捕獲圧の変化など様々なファクターが関与していることをふまえた上での「目標の目安」であることを確認したい。</p> <p>農林業被害だけでなく、地域性のある植生が攪乱されている場所もあり、森林・生態系の保全という視点も考慮した計画とするべき。</p> <p>適切な棲み分けのために、住民へのイノシシに関する知識の啓発や被害防除対策の普及は必要不可欠だが、高齢化が進み、ほぼ自家消費の営</p>

		<p>農が多い地域では、住民による積極的な取組みは難しく、地域と行政の新たな連携の形が必要だろう。</p> <p>また、林地については不在地主であることが多く、被害として報告、被害額として算定されずとも生息地地域の管理という意味で新たな施策、事業が必要だろう。</p> <p>府下の野生ほ乳類に関して、その生息状況、人や自然環境との軋轢、狩猟、駆除等に関し、地域住民が知るチャンスが少ない。野生動物は公共信託財産であり、府民への情報の共有の推進に努めること。</p>
近畿中国深林管理局	条件付き賛成	<p>狩猟期間延長については、大阪府民だけでなく近隣府県民にも周知徹底し、入込者の安全確保に努められたい。</p> <p>狩猟（わな等を含む）で狩猟者等が国有林へ入林する際には、必ず入林届を提出するよう指導願いたい。</p> <p>国有林野内への「箱わな」の無断設置や「くくりわな」の未回収などのモラルに関する問題も発生しているため、狩猟者等への指導及び監視体制の強化を図られたい。</p>
八尾市	条件付き賛成	<p>大阪府イノシシ保護管理計画を策定されるに際しては、大阪府下で多発しているイノシシによる農業被害等の減少を図るため、多産系で行動範囲が広いイノシシの被害対策は市町村・都道府県の垣根を越えて広域的な個体数削減に取り組む必要があることなどを勘案し、大阪府が主体となった有害鳥獣被害防除対策を構築されるとともに、市町村等の有害鳥獣捕獲活動に積極的な財政支援等を行っていただきたい。</p>
(社)大阪府猟友会	賛成	<p>イノシシ 19年度 2300頭の捕獲目標には、狩猟期間の1ヶ月延長にあわせて、後継者の育成が不可欠です。狩猟免許試験を受験しやすく、複数回実施して戴ければ幸いです。</p>
能勢町	賛成	記述なし
高槻市	賛成	<p>山間地域又その周辺部での農作物被害の増加傾向で苦情を行政として聞くことが多くなった。したがって、適正な頭数管理は必要と思われる。</p>
河内長野市	賛成	<p>本市は市域の約70%が山地で豊かな自然が残されている反面、近年イノシシによる農林業被害（農作物食い荒らし、農地の踏み荒らしなど）が急増しており、特に中山間地での被害が多く、農家から営農意欲がなくなるなどの声も聞かれ深刻な状況になっています。</p> <p>また、市内には4箇所約1969haの鳥獣保護区が指定されており、今後、益々被害の増加が予想されることから保護区内での捕獲も含め捕獲目標数の設定、狩猟期間の延長とイノシシを里地に引き寄せない環境づくりなどにより、個体数の調整を行っていく計画策定案に賛成します。</p>
岬町	賛成	記述なし

